

2011年(平成23年)度 第4回 理事会議事録

I. 日 時：2011年11月8日(火) 19:00~21:00

II. 場 所：神奈川県作業療法士会事務所

III. 理事会定数(出席11名、委任6名)

出席理事：渡邊、佐藤、鈴木、木村、作田、富山、中西、原、福留、三浦、澤口

委任理事：浅井、奥原、小峰、錠内、机、野々垣

出席監事：清宮、長谷川

出席事務局員(書記)：名古屋、中尾、金山

その他：酒井(広報部対外広報班)

IV. 議長団選任

議長：渡邊会長

副議長：澤口事務局長

※ 議事録署名人は会長、監事及び出席理事より1名選出しなければならない(定款より)。よって出席理事より下記のように互選された。

議事録署名人：渡邊会長、長谷川監事、作田理事

V. 配布資料

各部

事務局理事会資料

財務部

学術部理事会資料

広報部理事会資料

福利部理事会資料

教育部理事会資料

地域リハビリテーション部資料

福利部理事会資料

各委員会

社会保障制度対策委員会

ウェブサイト管理委員会

VI. 回覧資料 添付参照

VII. 各部からの報告・検討事項

<事務局> 報告：澤口事務局長

【報告事項】

1. 渉外関連

1) 病院医療関係団体連絡協会(事務局担当：県士会)の開催

日時：平成23年10月21日(金)

時間：①15時~16時(県側との意見交換会：県庁第5会議室：集合14時45分)

②16時30分~18時(協議会団体のみで意見交換会・懇親会：英一番館)

県側の出席者：黒岩祐治知事 古尾谷光男副知事 中島栄一保健福祉局長

中沢明紀参事監兼保険医療部長 木村博嗣地域保健福祉部長

石村幸夫生活衛生部長

出席団体：12団体 出席者：28名

*来年度も秋頃実施する予定(事務局担当：県士会)

2) 医療専門職連合会公開セミナー

日時：10月21日(金)19時~

場所：県民サポートセンター

講師：吉田篤史(放射線技師会：川崎市立多摩病院)

内容：放射線の人体への影響について

出席：三役

3) 災害対策について(継続審議)

・行政の動きを神奈川県に質問し→回答待ち

- 4) サポートツール全国キャラバン2011「教材教具研修会」in 横浜の後援名義依頼⇒承認済み
主催：全国LD親の会
日時：2012年2月5日（日）9：30～16：40
場所：横浜市開港記念会館
⇒理事MLにて持ち回審議を行い、承認済み
 - 5) 講習会講師依頼
 - ・公益社団法人 認知症の人と家族の会より
家族支援プログラム講師依頼：「寄り添ってみましょう 相手の心」～認知症の方のリハビリテーション～
日時：H23.12.10（土）14：00～
場所：横浜市健康福祉総合センター 8階B研修室
⇒錠内副会長が担当
 - 6) 厚生労働局医政局→神奈川県保健福祉局保健医療部より通知
「地域の自立性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行について」
2. 庶務関連
- 1) 賛助会員B（団体）1社の入会申し込みあり⇒受理
社名：（株）ヒューマンアイ
*県士会ニュース152号に「福祉車両展示会」の広告掲載依頼を受け、賛助団体Bになって頂くこと
をお勧めしたところ快諾。
 - 2) 県士会データベースの細目見直し
理事MLに細目を載せましたので、ご意見を下さい。尚、平成16年度以降、細目の更新していない。

【検討事項】

1. OT協会関連
 - 1) OT協会選挙管理委員会より「OT協会代議員選挙で各県士会に対し不足分推薦者の選出」依頼
・神奈川県の題議員定数 8 名 ・推薦依頼数：3 名 ・メ切：11月19日
現在、OT協会代議員立候補者は平成23年1月4日告示によると県士会理事より3名・県士会役員より1名、会員より1名の計5名。よって残り3名を県士会より推薦の依頼。
⇒検討の結果、各分野や県内地域からできる限りくまなく選出することとし、互選の上県士会より推薦者の選出を行うこととなった。立候補不足地域は小田原や湘南地域、三浦地区など。分野は精神・発達・老人など。→担当は事務局。
 - 2) WFOT2014 Team Japan 国内組織委員会活動で当面県士会事務局に「対応班」を創設することを提案。
 - ・県士会への主な依頼委員会は以下2つ（個人的な依頼は別）
「大会運営委員会」「独立採算プログラム：施設見学会・市民交流会など」
*渡邊会長：大会運営委員長
*錠内副会長：後援・展示委員長
*独立採算プログラム委員会：岩瀬委員長（鹿児島大学）
→現状：各委員会より委員召集の依頼がなし。委員の任命時期も不明。しかし、現在「独立採算プログラム委員会」より各県士会の意見集約など動向調査依頼あり、県士会として意見を挙げる必要性あり。
→よって、事務局部員（WFOT対応班）として以下2名を部員として承認して頂きたい。
 - ・田中秀宣（平塚市民病院）
 - ・神保武則（北里大学病院）
 - ⇒検討の結果：現段階としては、まずは上記2名を直接本部実行員会より任命してもらうことが先決ではないか。その際に上記2名を推薦することは承認。⇒事務局でもう一度岩瀬先生を通して、直接委員の任命をできないのか打診する。
 - 3) OT協会が行う福祉用具相談事業への参加について（添付参考資料）
提案：渡邊会長（OT協会制度対策部福祉用具対策委員会兼委員長）
⇒次年度の当会事業計画に入れていく
2. 県士会事務所のセキュリティ強化
 - ・県士会事務所が入居するビルに盗難事件があり、当会事務所も盗難未遂が2件（うち1件は扉ガラスを破壊し侵入、器物破損：損害なし）
 - ・会員の個人情報もある。「セコム」導入の検討を行った。
月額：11000円 保証金：20000円 機器取費：30000円 *初期費用：50000円
⇒結論：どのような保障をしてくれるのか。他社の見積もりも出して検討。
毎月経費がかかってくるものであれば、次年度予算の盛り込む必要あり。財務部とも相談が必要。

被害が出る前に理事MLにて情報を回して、稟議を行い、承認の方向へ。

3. 川崎市介護認定審査会委員推薦依頼

委員任期：平成23年12月1日から平成25年3月31日

推薦期限：平成23年11月9日（水）

⇒推薦：湯澤大輔（麻生リハビリ総合病院）⇒承認

4. 日本の医療を守るための総決起大会への参加

神奈川県医療推進会議（会長：県医師会）

日時：平成23年11月29日（火）18：30～19：30 場所：神奈川県総合医療会館7階大講堂

参加無料 問い合わせ：神奈川県医師会

⇒承認

<学術部> 報告：福留理事

【報告事項】

1. 講習会開催報告

1) 分野別講習会<身体障害分野>

「高次脳機能障害の基礎」 講師：早川裕子（横浜市立脳血管医療センター：作業療法士）

開催日：2011/9/17 会場：ウィリング横浜

参加数：136名（スタッフ6名含む）

2. 講習会開催予定

1) 分野別講習<身体障害分野>

①「上肢機能の基礎から応用」 講師：鴻井建三（横浜市立大学附属市民総合医療センター：作業療法士）

開催日：2011/11/12 会場：横浜市大市民総合医療センター 本館3階リハビリテーション部

参加者：150名の参加者希望有り 定員は50名

②「作業療法士のためのキャリア・デザイン入門～強みの作り方、伸ばし方、活かし方～仮」

講師：若林秀隆（横浜市立大学附属市民総合医療センターリハビリテーション科：医師）

開催日：2012/1/22 会場：横浜市大市民総合医療センター

参加費：2000円

2) 分野別講習<精神障害分野>

「実践報告」 講師：富田浩史（富士見台病院：作業療法士）、武井寛道（藤沢病院：作業療法士）

開催日：2011/1/22 会場：百合丘地域生活支援センター「ゆりあす」

定員：80名 受講料：2000円

3) 生涯教育講座<実習指導者養成講座>

「教育方法論」 講師：長野正（玉川大学教職大学院：教授）

開催日：2012/1/7 会場：ウィリング横浜

定員：50名 受講料：無料

3. 学術誌関連

現在、編集員にて査読を行なっている。発行予定は2月下旬から3月上旬となる予定。

4. 研究助成

1) 研究課題：『重症心身障害児施設の入所者に対する作業療法の介入に関する研究』

研究代表者：杉山いずみ（小さき花の園）

請された経費：200,000円

※研究・実践の独創性・新規性の項目において、研究者が同じような発表をしていた為ヒアリングを実施した。新規性が確認され、合議審査もクリアし承認。

【審議事項】

1. 部員の承認

小河原格也（神奈川県立保健福祉大学）⇒承認

<広報部> 報告：酒井対外広報班長

【報告事項】

1. 今後のニュース発行予定

号	発行月	掲載原稿 締め切り	封入チラシ 締め切り	主な記事
149	5月末	発送終了		
150	7月末	発送終了		
151	9月末	発送終了		
152	11月末	印刷・発送作業中		
153	1月末	12月10日	1月10日	
154	3月末	2月10日	3月10日	総会案内

2. 企業の広告・チラシ封入の件

企業広告「日産の福祉車両 ライフケアビークル の展示依頼募集」記事をニュース 152 号に掲載予定。
依頼企業には協賛会員入会をご提案⇒事務局より入会受理を確認

3. 編集会議開催について

11月2日(水) 19:00～ 予定していたが延期

4. 対外広報班活動報告

1) 日本作業療法士協会の協力について

9月25日 作業療法フォーラムに参加(広報部より8名参加):参加者 60名程度

10月16日 イオン本牧ブース出展に参加(広報部より10名参加):参加者 30名程度(子ども中心)

2) 作業療法学科入学希望者への臨床見学対応(2件:高校生・社会人)

5. 下半期活動計画

1) 学生への啓発活動:高校・予備校へのパンフレット送付

2) 一般市民への啓発活動:ラジオ出演

放送局名:ラジオ日本

番組名:横浜ロハス 「すこやか介護」というコーナーで広報部員が出演。OTを紹介する。(平成24年1月26日木曜日放送予定) *番組は朝9時～11時30分

3) 関連職種への啓発活動:他団体への学会参加・ブース出展⇒介護支援専門員学会を予定

4) 啓発ツールの作成:県士会パンフレットの改訂(10月以降始動予定)

6. 広報部活動報告

1) 神奈川県医療従事者連合会広報部委員会に参加

12月1日(木) 19時～ 放射線技師会事務局にて

2) 神奈川県医療従事者連合会広報誌への執筆依頼

12月下旬締め切り テーマ「医療安全対策」

<福利部> 報告：富山理事

【報告事項】

1. 職場見学会について

1) 第3回

日時:平成23年11月18日(金)19:00～ 場所:ふれあい平塚ホスピタル(神奈川県平塚市)

講師:村中準一郎 OTR 定員:20名

2) 第4回

日時:平成24年1月27日(金)19:00～ 場所:港風舎

【検討事項】

1. 平成24年度 OT 協会表彰推薦について

推薦候補者

協会表彰:規定に基づき審査、今期は該当者なし

功労表彰:城下絵里香先生(1746)、谷口順子先生(1829) → 2名を推薦⇒承認

<地域リハ部> 報告：木村理事

【報告事項】

1. 広報紙への記事掲載
152号→1ページ記事掲載
2. 研修会開催報告・開催予定
 - 1) OT・PSW 合同研修会（第7回地域リハ勉強会）2011年9月18日（日）ウィリング横浜
→OT 25名 参加 PSW 約20名参加
 - 2) 第1回訪問リハビリテーション地域リターナーミーティング 2012年2月5日（日）横浜市開港記念会館
3. パイロット事業 →HCRでの報告終了
4. 「認知症作業療法実態調査（アンケート調査）」スケジュール
10月17日～→全施設にアンケートを配布
11月末→回収
1月→結果を県士会ニュースに掲載。結果をこれからの活動に反映する
5. 「特別支援学校を中心としたタウンミーティングの有効性の調査」
日時：平成23年12月 3日（土）13：00～16：00
平成24年年3月10日（土）13：00～16：00
会場：相模原中央支援学校（緑風園跡地）
参加対象：近隣に勤務あるいは在住のOT → 県内全域に変更
内容：養護学校のOTの状況を報告
地域連携に今後必要な取り組みなどをディスカッションする
6. ウェブサイトに地域リハ部の総合コンテンツを作成
→訪問リハ事業所の紹介、過去のニュース記事、アンケート結果、リンク集

【審議事項】

1. 来年度事業計画
 - 1) 研修担当～PSW 合同研修会
 - 2) 普及担当～認知症関連スキルの普及
難病（ALS）支援スキルの普及（年1回の講習会など）
就労支援のパンフレット作成
 - 3) 調査担当～特別支援学校を中心としたタウンミーティング（横浜）
引きこもり支援の調査
IT活用による施設間連絡の可能性の調査
障害者団体のニーズ把握調査
2. 神奈川県訪問リハビリテーション協議会（仮）創設に関して
OTPTSTからなる訪問リハの協議会を構想中。目的は訪問リハの普及とサービスの質の確保。
県士会の下部組織とするか否かについての検討。
⇒目的・活動内容をもう少しつめておく。⇒継続審議。

<社会保障制度対策委員会> 報告：三浦理事

【報告事項】

1. 情報の配信について
9月16日、10月20日、31日に県士会ブログに情報の掲載を行なった。
2. PT士会との合同介護報酬改定講習会開催で検討した結果内容の報告（別紙）
講習会名：平成24年度介護報酬改定講習会
日時：平成24年2月26日（日） 9:30～12:30
会場：ワールドポーターズ6階イベントホールA
定員：180名
参加費：無料（PT士会がもともと無料にて計画していた。OT士会もそれに準じた）
*PT士会講習会無料の理由（PT士会より）
介護保険部にて行う講習会は以下の目的で講習会を無料
 - ・学術講習とは違い実務者の育成を目指すものであり、会員に利益を還元するため
 - ・会員離れを防ぐため
 - ・新人教育プログラムの単位認定していない講習会のため
 - ・上記により、前年度予算作成時に会費を無料で開催することをPT士会で承認されているため

【審議事項】

1. 今年度の中途新規事業「PT 士会合同介護報酬改定講習会」共催に伴う補正予算の申請

・講習会開催経費の内訳(OT 士会分)

：会議費	2,400 円	(3 名×1 回)
旅費交通費	12,000 円	(当日 6 人×1 日、会議 3 人×1 回)
消耗品費	2,000 円	
印刷製本費	18,000 円	(県士会ニュースヘチラシ 1 回封入)
会場費	26,670 円	(PT 士会との折半額(@53,340 円))
通信運搬費	1,000 円	
諸謝金	7,500 円	(PT 士会との折半額(@講師 1 名 15,000 円))
計	69,570 円	

・社会保障制度対策委員会予算(平成 23 年度)の執行状況

上半期残額 33,125 円(10/31 付け)

下半期予算 35,000 円(11 月～3 月)

- ・提案：上半期残額 33,125 円と下半期予算より一部 6,445 円を抽出し、計 39,570 円を今回の講習会予算として一部計上、不足分 30,000 円を補正予算として申請したい。

(意見)：講習会内容はすでに決定済みで、OT 士会として必要な点(精神科など)が今回は入れられない為、OT 士会が負担する開催経費に関しては一度 PT 士会と交渉する⇒木村理事が交渉する。

今日の提案では県 OT 士会負担分は 1/3 という意見があった。

今後共催を検討する場合は、OT としても必要な企画と判断したのなら、PT 主催の内容に参加するというスタンスではなく、プログラムに対して、OT 側の意見を反映させていく必要がある。または単独で開催するなどの検討も必要という意見があった。

⇒結論：今回は実施が決まっている状況なので財務部が財政上で承認可能であれば認めざるを得ない。

2. 部員の承認について

- ・牛木彩子(国際医療福祉大学)

- ・中野裕理(介護老人保健施設 悠久) ⇒ 2 名承認

<ウェブサイト管理委員会> 報告：作田理事

【報告事項】

1. サイトの管理とアクセス件数

傾向：昨年度と比較して更新件数は増加している。講習会開催情報の掲載依頼方法を 8 月下旬にネット上の入力フォームのみと 1 本化した。9 月、10 月の依頼件数から依頼が減ることはなかった。

7 月中旬の「求人情報」掲載ページなどのリニューアル。8 月下旬の「講習会・研修会」掲載ページなどのリニューアル。9 月上旬の「地域リハの”わ・和・輪”」の新規オープンなどからプレビュー数が増加した。

2. 県士会サイト本体のリニューアルにともなう「お知らせ」の掲載システムについて

9 月 26 日に県士会サイト本体のリニューアルが完了。それにともない、各部・各委員会の「お知らせ」については、県士会サイト「お知らせの発信」の掲載依頼マニュアルにあるように 2 種類の「お知らせ」システムを設置した。(詳細はマニュアルを参照)

3. 原稿の依頼

1) 各部・各委員会のページの更新(各理事)

県士会サイトに掲載している各部署ページの記載内容の更新依頼

- ・活動内容の紹介・・・必要に応じて書き換えてください
- ・H23 年度活動計画・・・今年度の内容へ書き換えてください
- ・構成部員・委員・・・必要に応じて書き換えてください
- ・部長・委員長からの一言・・・必要に応じて書き換えてください

原稿は作田まで

※変更がない場合は作田理事まで連絡する。

2) 県士会開催との活用(コラボレーション)の進め

レンタルサーバーの変更および県士会サイトのリニューアルにともない、県士会サイトの掲載作業が簡便に行えるようになった。さらに各部・各委員会が県士会サイトを活用できるよう、活用例を示し、提案。各部・各委員会にて、県士会サイトを活用した情報発信の強化について検討していただきたい。

以上をもって審議議案はすべて終了。以下、議事録署名人が確認し記名押印する。

会議終了時間 21 時 00 分

次回の理事会開催日時 平成 24 年 1 月 19 日 (木) 19 時より

開催場所 一般社団法人神奈川県作業療法士会事務所
〒231-0011
神奈川県横浜市中区太田町4-45第一国際ビル301
TEL/FAX 045-663-5997

議事録署名人	議長	渡邊慎一	印
	監事	長谷川 元	印
	理事	作田浩行	印